



富士山は噴火する危険性はないの

富士山は、噴火を何回もくり返してできた

富士山は日本一高い、美しい山です。富士山は、火山のはたらきでできた山ですが、一度の噴火で、できたものではありません。

今から60～70万年前に、駿河湾の北部で、海底火山が噴火しました。これがもとになって、小御岳火山とよばれる、火山ができました。次に、約2万年前の氷河時代に、火山の活動が最もさかんになって、古富士火山ができました。

約1万年前に再び始まった、火山活動によって、古富士火山は、今の富士山の形になりました。

噴火する危険性はある

富士山は桜島のように、けむりや、水蒸気をふき出していないので、今のところ、噴火するようすはありません。

今までの記録を調べてみると、富士山は、これまでに何回も、噴火をくり返していることが、わかります。過去1200年ぐらいの間に、20回近くも噴火しています。

最近では、1707年の「宝永噴火」があります。このときは、南東のしゃ面から噴火して、まわりの村に、大きな被害をあたえました。100キロメートル以上もはなれた、江戸にも、火山灰が降りました。

その後300年近く、富士山は火山活動をしていません。九州の雲仙岳（普賢岳）は、200年ぶりに噴火しているので、富士山もいつ噴火するかわかりません。

（監修・国司 真）

